

成果指標				
成果指標	主要水防訓練出動人員／水防訓練出動予定人員市水防訓練(H26 予定:200人、出動:148人)、重信川流域合同訓練:(H26 予定:4人、出動:4人)148/152=97.37%			
指標設定の考え方	訓練参加団員の参加率により、訓練出動手当のコストパフォーマンスをみることができる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	100	100
実績	67	97.4	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	<p>・例年実施の水防訓練については、関係機関(市・消防署・消防団・自主防災組織・市職員)連携のもの水防工法訓練等を円滑に実施できた。・また、梅雨前線豪雨や台風等の水害に備えてのどのう積み等事前応急対策等にも迅速に対応することが出来た。今後も継続的に訓練等を実施するとともに、関係機関の全組織員が訓練の必要性を認識し、水防工法等のスキルアップを目指し取組んでいくことが必要と考える。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	5	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	<p>愛媛県平均額を参考に伊予市消防団の設置に関する条例の改定を行い、消防団の処遇の改善が図れた。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	消防団員手当支給事務と消防団員人件費支給事務を分けて評価する必要があるのか。予算の組み方も含めて検討すること。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。